

そろばんの友



公益社団法人 全国珠算教育連盟
沖縄県支部広報部

☎ 879-4193

<https://88okinawa.jp>





空中で弾く見えない珠に憧れて、私も暗算を頑張りました。「一生の財産」手にいれたぞ！

暗算大会



思い通りに結果が出ないけど、他にやっていた事も我慢したけど、仲間と頑張った経験は、大切な思い出。叱られたり、褒められたり、先生ともたくさん話したね。

珠算競技大会



ずっと頑張ってきた成果が認められたね。表彰された自分に誇りを持って、これからも自分が好きな事、興味のある事にチャレンジしていつて下さい。

優良児童生徒表彰式典

表彰を受ける皆さんおめでとう!!

優良児童生徒表彰、おめでとう。

この表彰式はこれまでのあなたの頑張りが評価されたものです。

これまで、つらいこと、苦しいこともたくさんあったと思うけど、その分、楽しいこと嬉しかったこともいっぱい経験したと思います。

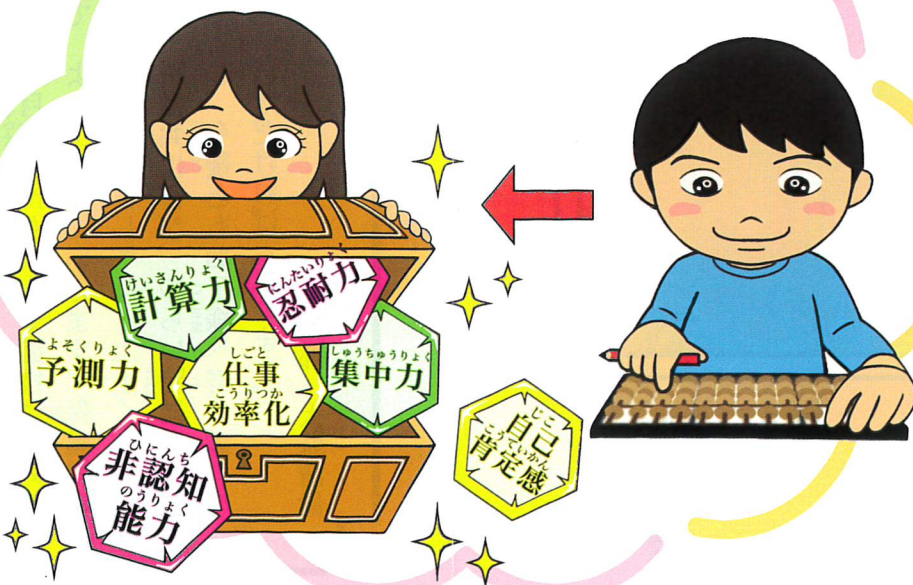
そろばんを習い始めの頃は「行きたくない」と泣いたことも、試験に落ちて「もう辞めたい」と思ったことも今では良い思い出になっていることでしょう。目標に向かって諦めずに頑張るあなたの姿は、とても素敵で誇りに思います。自信を持って前進あるのみです。

そろばんを通して得た力は、きっとこれからのあなたを支える力になってくれます。

今日はこれまでのそろばん学習の節目の一日です。過去を懐かしみ、また新たな未来への一歩を踏み出す日です。

これからも「そろばん」があなたの一助となりますように。

珠算学習は一生の宝なり



■ちびっ子そろばん大会■
そろばんを習い始めて、すうじと仲良くなり始めて、たくさんのお友達と一緒にちびっ子そろばん大会に参加。「負けないぞ」と思ったり、「できた!」と喜んだり、どきどき・ワクワクの経験でした。



■検定試験■
ぎこちない指で珠を弾き、鉛筆も上手く使えるようになった。数の仕組みが理解でき、処理速度が上がり、目標に到達できる。成功した事も失敗した事も、検定を通して自分力が高くなった事でしよう。



■ボランティア授業■
3・4年生の時にそろばん教室とは違うそろばんのお勉強。簡単だと感じたよね。お友達にも教えてあげたね。算数も得意になったかな?



当山 真

仲西中3年

楽しむ事が一番

私は、幼稚園の頃から現在まで約9年間ほぼ休まずに珠算練習を続けてきました。その結果、珠算・暗算ともに十段合格できました。

また、暗算のみでの珠算十段合格を成し遂げることが出来ました。ですが、それまでの道のりは決して楽なものではありませんでした。最初の頃は、順調に合格していきましたが、八段あたりから全然合格できずにそろばん教室に行くのがとても嫌になりました。そんな時、母からの後押しがあり、何とか毎日練習に行くことが出来ました。ですが、嫌々やっていたので珠算の実力は落ちていく一方でした。そんな時、そろばん教室の先生から「こんな意味のない練習を続けていて何が楽しいのか？」と言われ、練習を楽しくむように心がけると、少しずつ実力が伸びてきました。その経験から私は、「そろばんは、楽しんでやらないと前に進まないものだ」と思いました。その楽しみの一つに、大会で

知り合った人とのライバル関係や、全日本や九州大会等での交流もあると思います。なので、これからも参加する大会で、ライバルに恥ずかしくないような練習をしていきたいと思っています。

―保護者からのメッセージ―

私が幼い頃にそろばんを習っていたので、子供にもぜひそろばんを習わせたいと思っていました。平日はそろばんの練習と学校の宿題を終わらせた後に遊ぶというルールを決め、週末や夏休みも練習が終わってから遊びに行くようにして、練習の大切さを伝えていました。小学校の頃は、なかなか合格点がとれなかったり、間違ちなおしに時間がかかって泣きながら帰ってくることもありました。それでも、三兄弟の誰かが私も目指していた十段合格を達成してほしいという思いがあり、時には厳しく指導することもありました。子供たちに継続する力を身につけてほしいという気持ちから、サポートを続けていました。その結果、息子が十段合格し、全日本、九州大会参加等ともううれしい事がいっぱいありました。この経験を生かしてこれからいろいろなことに粘り強く挑戦してほしいです。

当山 笑美



照屋 太晴

宜野湾小6年

悔しさを力に変えて

僕がそろばんを始めたのは、兄たちが習っていたからです。最初は楽しく練習していましたが、悔しい思いもたくさんしました。

特に、左利きの僕にとつて伝票算は大きな壁でした。左手で鉛筆を持ちながら同じ手で紙をめくると遅くなるため、どうすれば早くできるか考え、両手でめくる方法に変え

ました。練習を重ねた結果、スピードが上がり、十段を取得することができました。

また、大会では緊張して実力を出し切れないこともありましたが、そのたびに「どうすれば本番で落ち着いて計算できるか」と考え、県内外の大会に挑戦。経験を積むうちに自信がついてきました。どんなに難しい問題でも、「できるようになりたい」という気持ちを持てれば挑戦し続けていきます。支えてくれた親や先生に感謝しながら、これからも挑戦を続け、全日本珠算選手権大会で日本一を目指します。

令和6年度珠算優良児童生徒表彰 受賞おめでとうございます

今年もたくさんのお生徒が優良生徒として表彰されました。表彰に至るまで、楽しい道のりだけではなかったはず。出来なかつた事、辛い事を乗り越えてきて、日々自分を成長させてきた成果であり、そして1人の力ではなく、先生や保護者様の協力があった頑

張れた事もあったのだと思います。

全珠連ではこの先もたくさんのお生徒が表彰される事を願い、生徒が目標を持ち検定や競技に臨めるよう工夫していきます。保護者様におかれましては、上手くいっただけで、時には共に喜び、つらい時には励まし、今後ともお子様へ寄り添っていただければと思います。

広報部 大城清貴